

# 若者回帰への取り組みは

## 町長 紅花で郷土愛の醸成



丸川雅春議員

### 郷土愛の醸成は

**問** 若者回帰には、幼少の頃から、

地元を愛する想いがなければならぬと思うが、具体的な取り組みは。

### 町長

平成30年度から、全ての小中学校で紅花を題材とした学習をしている。中学校では町産材を使用した授業等で、資源、産業、文化を知り、体験し、考える機会を創出している。

### 問

紅花栽培体験も含めた、総合的な学習における郷土

愛醸成についての効果を、どう捉えているか。

### 教育次長

全国の小学6年生と中学3年生を対象とした調査で、「地域の行事に参加している」という割合が、本町の小学生は93・9%、中学生は73・7%。

また「地域を良くするために何をすべきか考えたことがある」という割合が小学生67・1%、中学生が44・5%と、いずれも全国平均を上回っており、一定の効果があったものと思われる。

### 就労への取り組みは

**問** 就労対策において、置賜定住

自立圏構想の中でどのような取り組みがあるか。

### 町長

置賜定住自立圏の共生ビジョンに基づき、西置賜雇用対策協議会を中心に、企業、学校、商工会等関係機関とも連携し、若者のU・I・Jターの促進、産業人材の確保、定着への取り組みをしている。

### 問

置賜30分構想実現に向けて現在の道路整備の進捗状況は。

### 建設水道課長

白鷹・米沢間は、米沢北インターから川西町間まで順調に進んでいる。長井・白鷹間の西廻り幹線道路は、県の中期道路整備計画に、前期5年の間に調査着手と掲載された。

### 問

置賜30分圏構想の道路整備が完了した際の雇用の創出についての考えは。

### 町長

働く場を確保するための位置づけとしての中で、我々の用いる地盤の足をどう創っていくかということ、大いに議論しながら方向づけたい。

### 定住支援について

**問** 若者の起業への支援事業の内容、実態は。

### 商工観光課長

支援内容は、創業に係る設備投資に対し3分の1以内、上限50万円を補助するもの。昨年度は2件の相談があり、1件が創業した。

### 問

県と連携している若者定着奨学金返還支援事業はいつから開始され、その成果は。

### 商工観光課長

平成27年度に創設された。本町では、これまで8人が該当したが、卒業後に県内に就職した人はなく、辞退している。



白鷹の未来を担う紅花学習



回帰率上昇で人口減少に歯止めを